

2012年度 第2四半期 業績のご報告



株式会社アイフィスジャパン



2012/8/1

1

1. 2012年12月期第2四半期の計画と実績

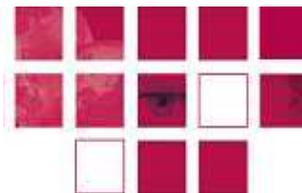
印刷配送事業の不振続くが、システムソリューション関連事業が落ち込みをカバー
下期予定案件の前倒しもあり、大幅増益

(単位:百万円)

(連結)	上期予想 (第2四半期累計)	上期実績値 (第2四半期累計)	会社予想値比
売上高	1,420	1,488	104.8%
営業利益	90	135	150.6%
経常利益	90	142	158.3%
四半期純利益	60	105	175.8%

【1株当たり上期純利益】 予想 1,245円87銭 : 実績 2,190円 60銭 (予想値比 175.8%)

2. 前年同期との業績比較



2012年4月～6月期よりインフォーテックが新たに加わり、大幅な増収・増益
インフォーテックを除く既存事業もシステムソリューション関連売上が伸び、増収増益

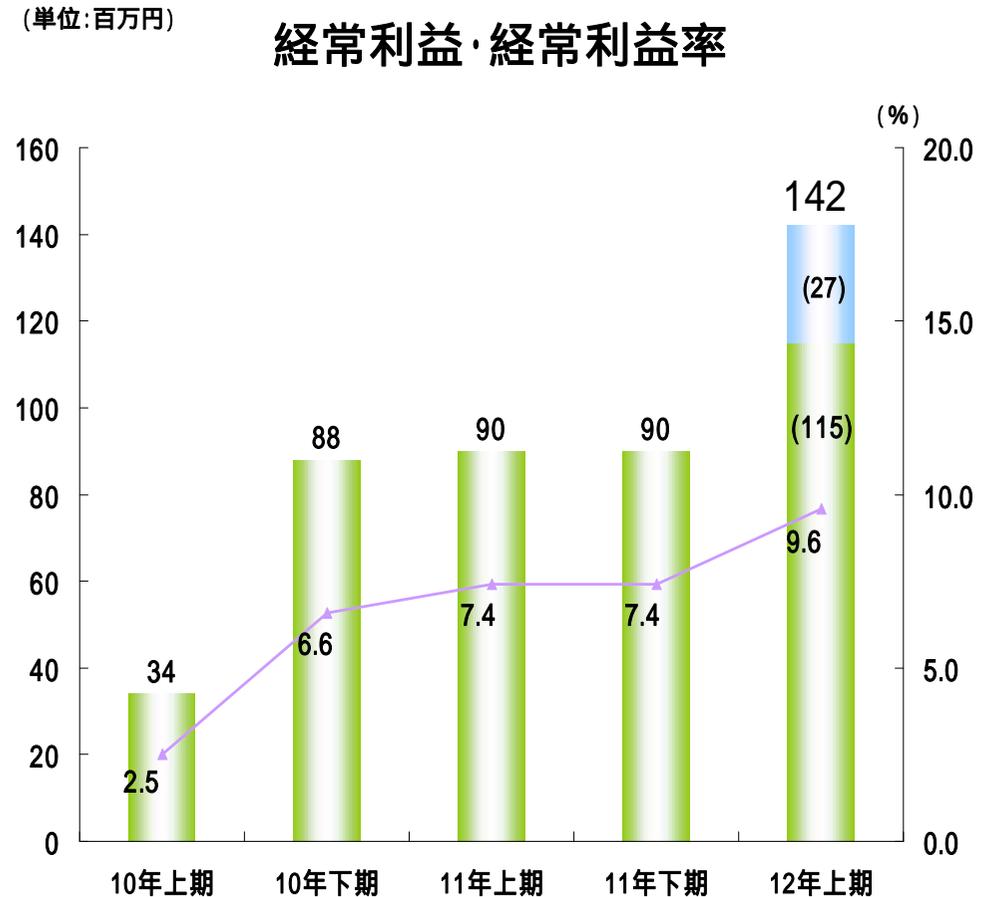
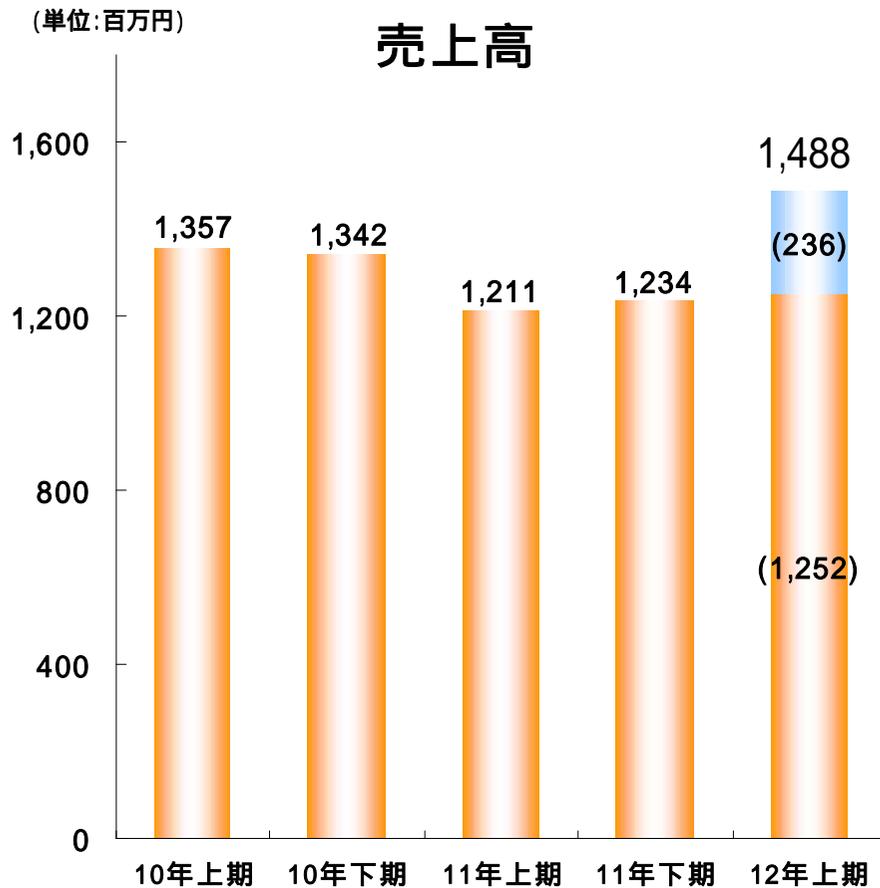
(単位:百万円)

(連結)	2011年上期 (第2四半期累計)	2012年上期 (第2四半期累計)	前年同期比
売上高	1,211	1,488	122.8%
営業利益	89	135	152.1%
経常利益	90	142	157.9%
四半期純利益	53	105	196.1%

- ・2012年は、新たに連結子会社となったインフォーテックの売上236百万円、営業利益27百万円を含む。
- ・インフォーテック新規加入の影響を除いても、増収(売上前期比103.3%)増益(営業利益前期比124.3%)。

3. 半期売上高・経常利益の推移 (連結)

12年上期の売上高は1,488百万円、経常利益:142百万円
うち、売上高236百万円、経常利益27百万円はインフォテックの数値(グラフ:水色表記)

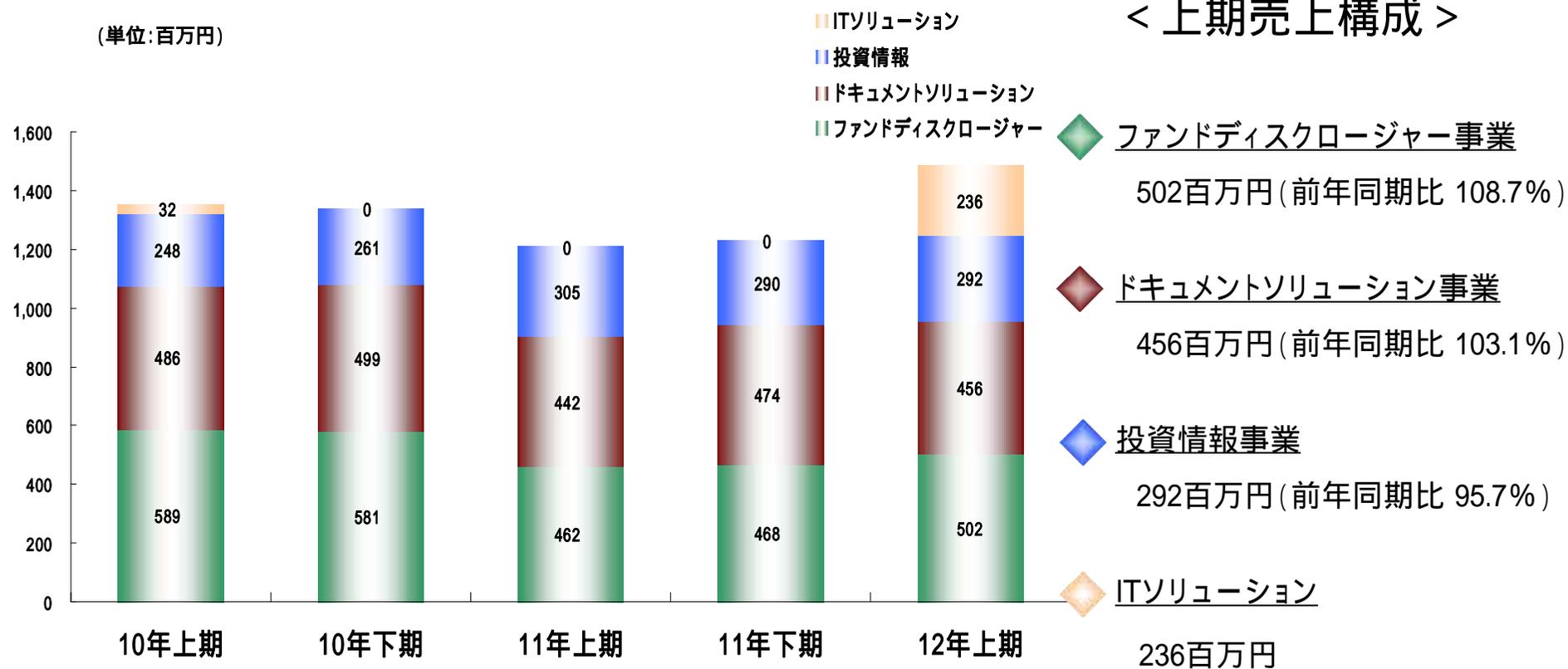


4. 事業部門別売上概況



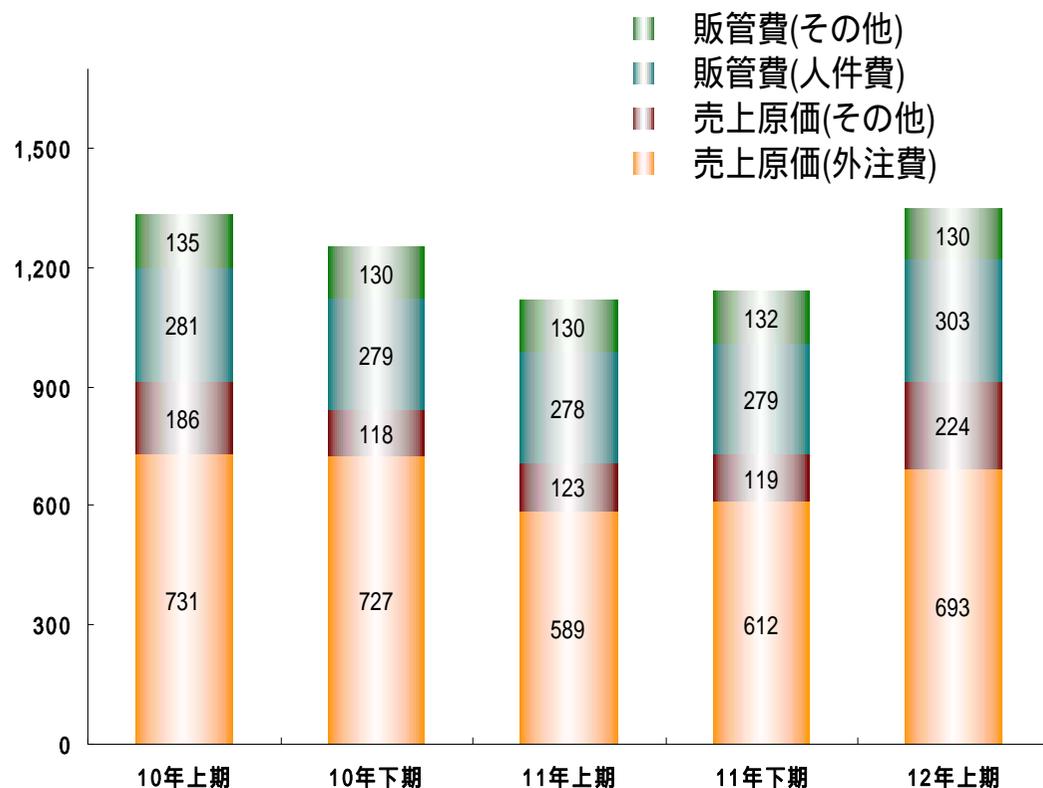
震災の落ち込みから緩やかに回復
インフォテックが加わり、ITソリューション事業が全体の売上を底上げ

(単位:百万円)



インフォテック事業上乘せに対応してコストも拡大

(単位:百万円)



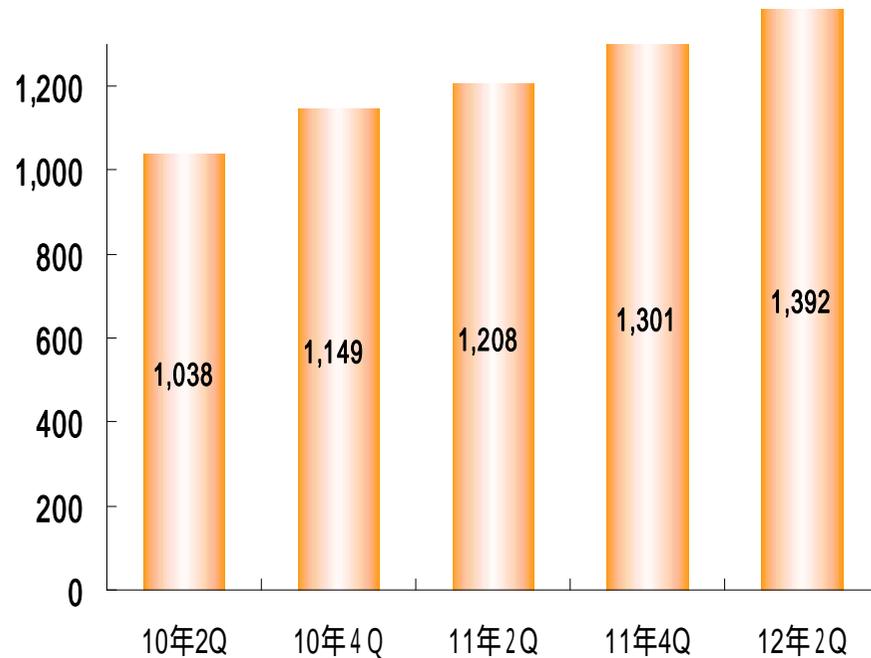
(単位:百万円)

	2011年 上期	2012年 上期	前年同期比
売上原価 (外注費)	589	693	117.7%
" (その他)	123	224	282.1%
販管費 (人件費)	278	303	108.8%
" (その他)	130	130	100.0%

システムソリューション関連の設備投資を積極的に進める一方
営業CFは順調に拡大

現金及び現金同等物の期末残高推移

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2011年 上期	2012年 上期	増減
営業活動によるCF	131	166	+34
投資活動によるCF	-8	-42	-34
財務活動によるCF	-63	-33	+30
現金期末残高	1,208	1,392	+183

2012年12月期上期CFの主な要因

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

収入: 上期税前利益(151百万円)、減価償却(69百万円)
支出: 税金関連(33百万円)

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

支出: 設備投資(36百万円)、インフォーテック株式取得による支出(6百万円)

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

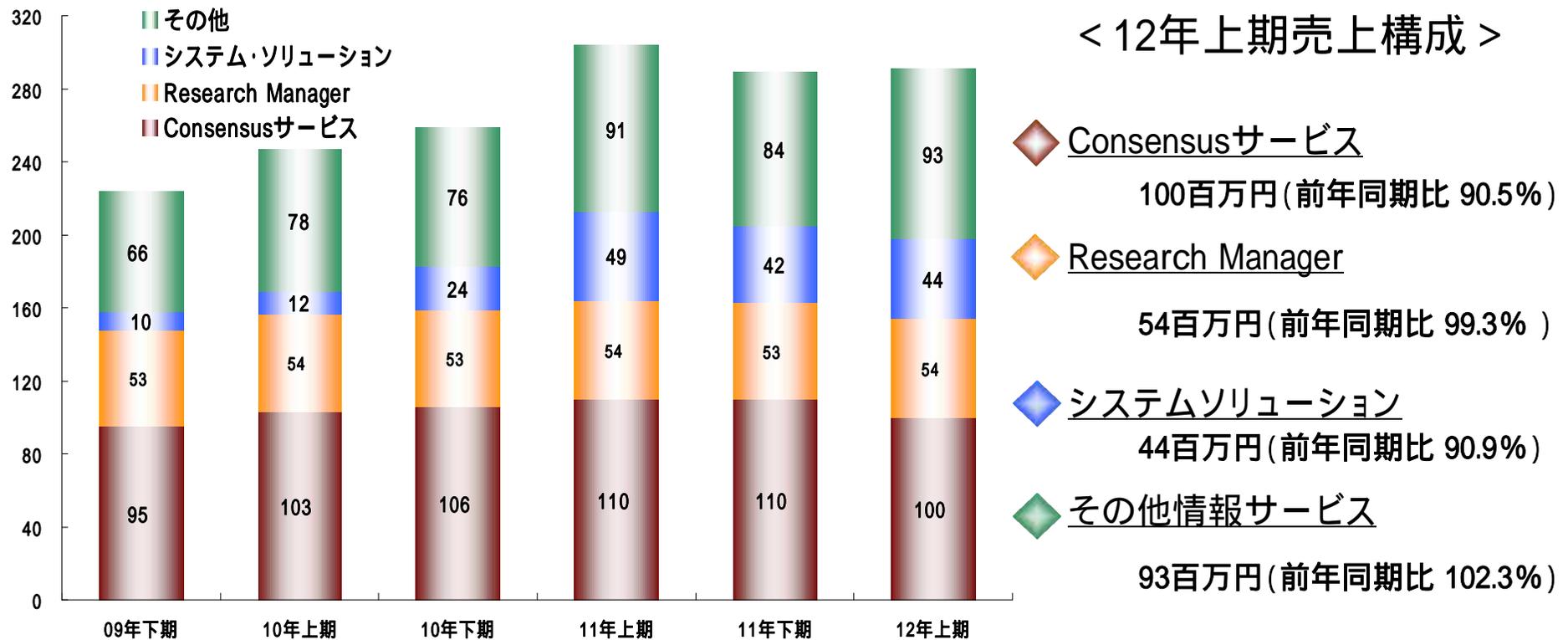
支出: 配当金支払(28百万円)

部門別半期業績推移

主要サービス実績

システムソリューションおよびその他情報サービスが引き続き高水準を維持
 主力サービスであるConsensusサービスが減少

(単位:百万円)



< 上期概況 >

株式市場の低迷を受け、顧客のコスト削減要求高まり、
Consensusサービスの契約数が減少傾向に転ずる。
ソリューションサービスが好調。
特に大手証券会社向けASPサービスが昨年に続き好調を維持。



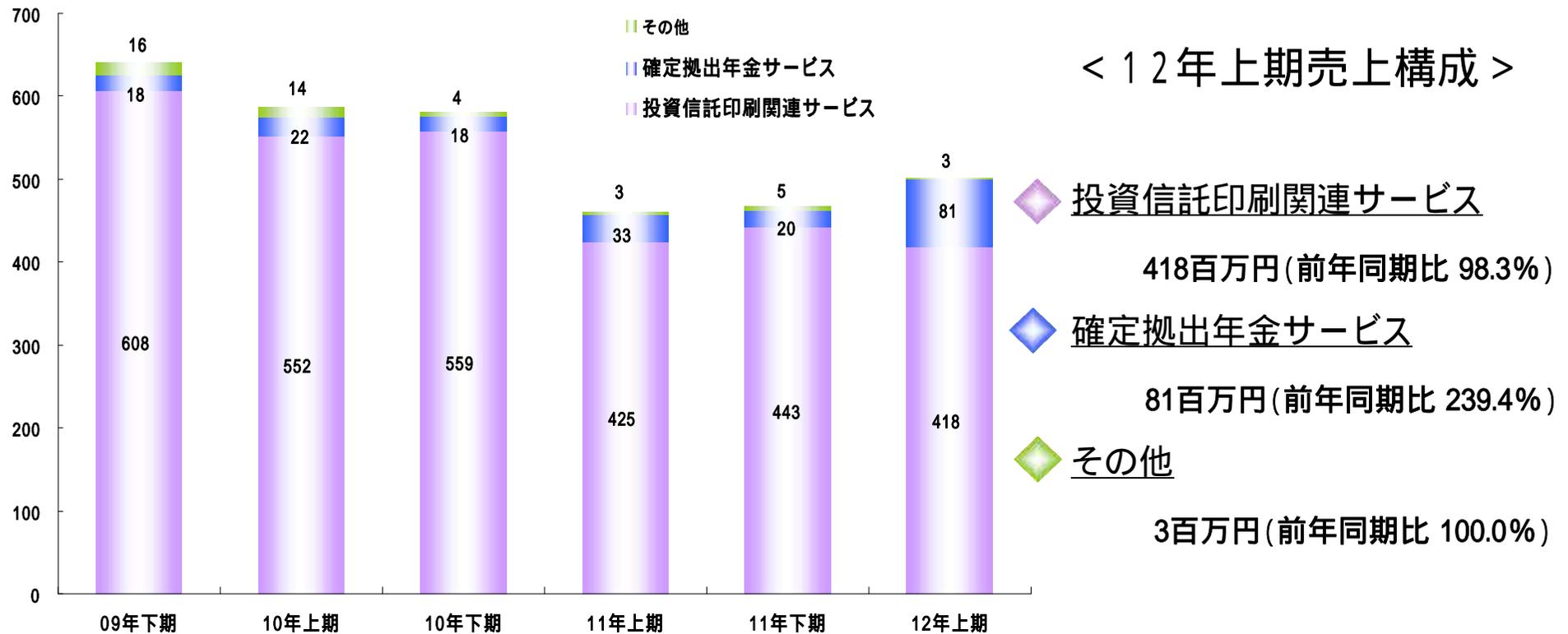
< 下期計画 >

Consensusサービスは上期に続き苦戦が続く見通し。
ASPソリューションサービスは大手証券会社向けが好調を維持。
さらにオンライン証券会社向けコンテンツ提供を拡大。
インフォテック社と連携し、金融機関へのソリューション提案を推進。

主要サービス実績

印刷関連サービスは依然減少傾向、
確定拠出年金向けサービス、特にASPソリューションサービスが好調

(単位:百万円)



10. ファンドディスクロージャー事業上期活動概況

< 上期概況 >

国外要因により投信市場の厳しい状況が続く中、
運用報告書・確定拠出年金サービス向けなどの新規商材に注力。
運用報告書市場開拓が進むも、投資信託印刷関連サービスは苦戦。
確定拠出年金サービスの拡販が好調。事業全体の業績を牽引。



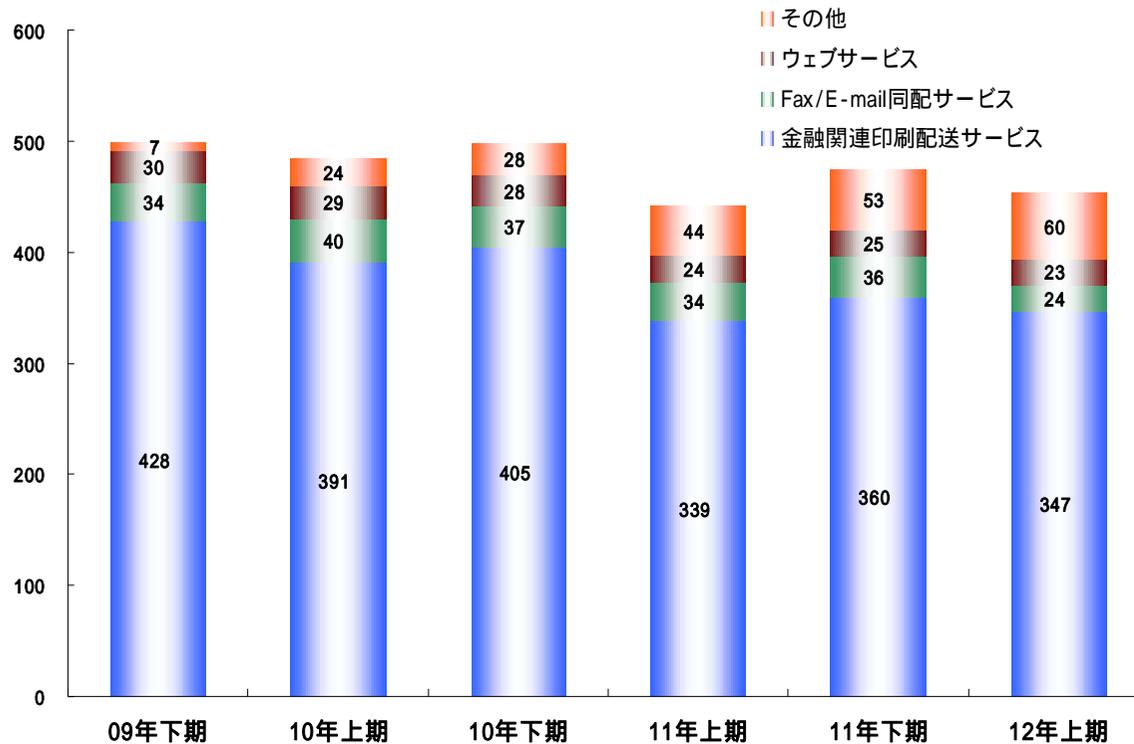
< 下期計画 >

投信市場に好転の兆しは見えず。
上期に続き、運用報告書拡販、確定拠出年金サービスへ注力。
新規商材としてITを使ったソリューション提案を検討。
主にバックオフィス業務関連システム、タブレット端末を用いた提案を推進。

主要サービス実績

印刷配送は震災による落ち込みを脱するも引き続き縮小傾向
新規商材投入による新たな顧客開拓を推進

(単位:百万円)



< 12年上期売上構成 >

- ◆ 金融関連印刷配送サービス
347百万円 (前年同期比 102.6%)
- ◆ Fax/E-mail同報配信サービス
24百万円 (前年同期比 71.4%)
- ◆ ウェブサービス
23百万円 (前年同期比 93.3%)
- ◆ その他
60百万円 (前年同期比 137.1%)

12. ドキュメントソリューション事業の上期活動概況

< 上期概況 >

昨年上期の震災による業績低迷からは徐々に回復するも、
大手証券会社や事業会社向けの印刷配信サービスは減少傾向が続く。
印刷に代わる事業として、印刷配送事業のノウハウを生かした、システムソリューションの提案を推進。

また、2008年にサービスを開始した翻訳事業が着実に業績を伸ばす。

< 下期計画 >

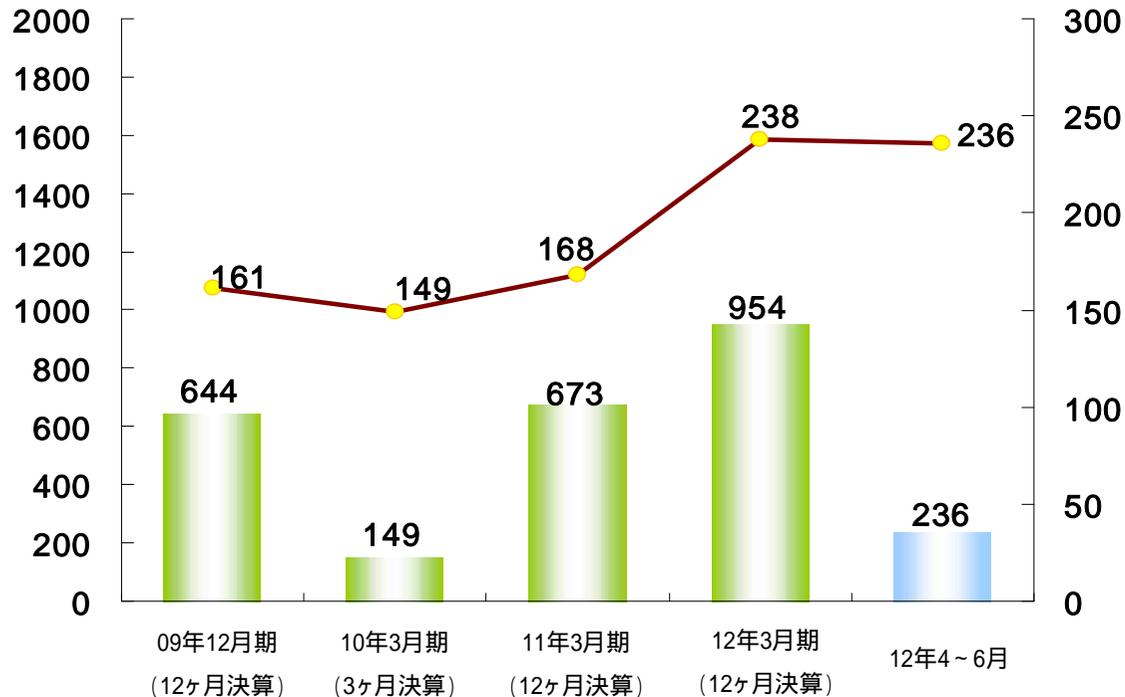
金融法人・事業法人の文書管理業務に対する、システムソリューション提案を推進。

主要サービス実績

ITソリューション事業は、新たに連結子会社となったインフォテックが主体
インフォテックは、グループ参入前の好調を維持

(単位:百万円)

< 売上高推移 >



12年3月期以前は、
監査法人の監査対象外

各期の決算月数が異なる為、
便宜上、各期の3ヶ月平均売上高を
折れ線グラフで表示



今期より連結子会社となったインフォテックが事業主体

< 上期概況 >

第2四半期より連結への業績取り込み

2012年3月期の好調を引き続きキープ

派遣・SESのサービスが堅調に推移するとともに、
受託開発を中心としたマイグレーションサービスが好調



< 下期計画 >

既存ビジネスの推進

IFISとのシナジー効果発揮



成長戦略 : ITソリューション拡大、新規事業、海外展開

ITソリューション事業

各部門で順調に展開中

新規事業

タブレットを用いたソリューションサービス立ち上げ

製造業向けデータベース事業検討

従来の金融市場に加え、金融以外の市場も視野に入れ展開中

海外戦略

主に上海、台湾、ASEANへの市場調査



2012年上期は公表値を大幅に上回ったものの、
下期予定案件の前倒しの影響が大きい。通期予想の変更はなし。

(単位:百万円)

(連結)	前期実績	今期予想	増減率
売上高	2,446	3,200	+30.8%
営業利益	179	240	+34.0%
経常利益	181	240	+32.5%
当期純利益	124	160	+28.9%

【1株当たり通期純利益】 前期実績 2,545円71銭 : 今期予想 3,322円 33銭 (増減率 +30.5%)

ご清聴ありがとうございました。